

### 3 仕事と収入の確保 ～経済の自立～



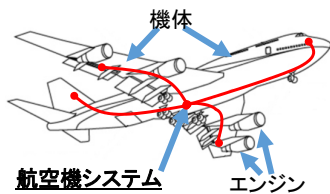
**【基本目標 3】**  
地域の資源・人材を活かした産業構造を構築することにより、仕事と収入を確保します。

#### 主な取組

#### 成果

#### (1) 経済構造の転換

- 「長野県航空機産業振興ビジョン」の取組を推進し、航空機産業への参入を支援



- 世界と競争できる「世界水準の山岳高原リゾート」を目指す「観光地域づくり」の推進  
世界を魅了するしあわせ観光地域づくりに向け  
・「信州の観光新時代を拓く 長野県観光戦略2018」を策定

#### 「しあわせ観光地域づくり」を実現する3つの戦略

- 戦略1 観光の担い手としての経営体づくり
- 戦略2 観光地域としての基盤づくり
- 戦略3 世界から観光客を呼び込むインバウンド戦略

- 「アジアの航空機システム拠点」形成

- ・人材育成,研究開発,実証試験までの一貫体制構築
- ・国内唯一の防爆試験機の設備を整備
- ・信州大学航空機システム共同研究講座の開設

- 379か所に無料公衆無線LANを整備 (H27～H29)

- 観光地域経営を担う舵取り役としての県DMOを構築

- ・(一社)長野県観光機構が観光庁から地域連携DMOとして登録される (H29年11月)
- ・市町村や地域DMOを支援するため、県DMOのマーケティング機能が強化される

## 主な取組

### (1) 経済構造の転換

- **県オリジナル新品種の開発と新品種等への転換による生産性の向上**  
市場関係者・消費者への求評会の開催、苗木の増産体制の整備等、オリジナル新品種等の販路拡大に向けた取組を強化
- **県産農産物の輸出拡大**  
輸出支援員の配置、県外バイヤー産地見学会、輸出促進セミナーの開催等による取組強化
- **県産材のブランド化を推進**
  - ・ 民有林と国有林とが連携し「信州プレミアムカラマツ」の規格等を決定 (H29)
- **産学官連携によるスマート精密林業「長野モデル」の推進**
  - ・ ドローンによる資源量調査など、ICT(情報通信技術)を活用した精密林業技術の開発を産学官連携で推進(H28~)

## 成果



- **赤系ぶどうの“種なし皮ごと”品種「ブドウ長果11」など6品種を育成**  
赤系新品種「ブドウ長果11」  
(市場デビュー H34)  

- **県産農産物の輸出額が大幅に増加**  
**5億6千万円(H28)**  
→**10億4千万円(H29)**
- **H29.10.25 信州プレミアムカラマツを第33回日本美林祭りで初出荷**  
通常のカラマツの約1.7倍の平均単価(約25,000円/m<sup>2</sup>)
- **「スマート林業タスクフォース NAGANO」を設立し、事業者の取組への支援を開始 (H30~)**  



20民間事業体、24自治体、1大学が参画  
ドローンを活用した資源量調査

## 主な取組

### (1) 経済構造の転換

- **「長野県食品製造業振興ビジョン」を策定 (H29.9)し、支援等を展開**
- **しあわせ信州食品開発センター**(H27年設置)による新商品開発支援
- **新設発電所(高遠さくら、水芭蕉発電所)の本格稼働及び大都市への売電**  
  
高遠さくら発電所  
  
水芭蕉発電所
- **県営発電事業の利益による自然エネルギー地域基金の創設**
- **収益納付型補助金による自然エネルギー事業の創出支援**  
(H27年度~)

## 成果

- **長野県の強みを生かした高付加価値食品を創出 107件** (H29年度 試作含む)  
【支援事例】 wasabi cream-cheese  

  - ・ 新鮮で良質な安曇野産本わさび100%と国産クリームチーズを使用したチーズ。
  - ・ 技術的な助言、試作加工室の貸出等により支援。
- **新設発電所の電気を「信州発自然エネルギー」として大都市の需要家に売電**  
⇒ 大都市との未来志向の連携により、地方創生に寄与
  - ・ 売電先 : 世田谷区立保育園(41園)、大阪・名古屋の企業等
  - ・ 発電量 : 約7,295千kWh増(約2,030世帯分)
  - ・ 料金収入: 約2億4千万円増
- **自然エネルギー地域基金の活用**  
⇒ 県営発電事業の利益を繰出し  
(H26~28総額5億円)  
⇒ 自然エネルギー発電事業を支援 24件  
(H29年度末累計)

(2) 経済の自立的発展を支える担い手の確保

○ 県出身学生の地元就職促進の取組



イベントに参加するUターン就職促進協定締結校の学生

県内企業の  
アピールポイント  
一挙大公開!



186社掲載! (H30.3末時点)

就活支援ポータルサイト「シューカツNAGANO」

○ 南信工科短期大学の開校 (H28.4)

- ・ 工科短期大学校 2 校、技術専門学校 6 校、農業大学校、林業大学校の充実を図り、県内産業が求める高度な人材を育成

○ 県出身学生の多い大学とのUターン就職促進協定の締結  
協定締結校

41校 (H28) → 47校 (H29)

○ ジョブカフェ信州における個別相談、セミナー等、若者の就業支援

相談者の県内就職率 76.8%(H30.3月卒)

○ ポータルサイト「シューカツNAGANO」に県内企業情報ページをオープン (H30.3月)

○ 高度な技能・技術を持った人材を輩出  
南信工科短期大学校専門課程  
第1期卒業生33名  
上伊那地域の企業を中心に就職率100% (H29年度)

数値目標の進捗状況

\*進捗区分 ●「A」: 目安値以上 ●「B」: 80%以上100%未満の進捗  
●「C」: 80%未満の進捗 ●実績値なし: 今年度実績値が把握できない  
・進捗割合=(実績値-基準値)/(目安値-基準値) ・目安値: 各年の目標値

労働生産性	年度	単位	基準値 (H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	目標 (H29年度)
県民経済計算 (企画振興部)  【備考】 全産業の県内総生産 (実質) を県内就業者数で除した数値 [H31年度の実質経済成長率2%を目標に設定] 注) 県民経済計算の結果が2年遅れで公表	目安値	千円/人		8,054	8,095	<b>8,137</b>	8,178	8,220
	実績値		7,153 (8,012)	7,296 (8,077)	7,314 (8,084)	<b>7,612</b> (全国23位)		
	進捗区分			A	B	<b>C (A)</b>		

※基準値の( )内は、労働生産性の算出基礎となる県民経済計算の遡及改定前の値により算出した値

就業率	年度	単位	基準値 (H26年)	H27年	H28年	H29年	H30年	目標 (H31年)
労働力調査モデル推計値 (総務省統計局)  【備考】 15歳以上人口に占める就業者数の割合[過去5年間の1位の数値の平均値をもとに設定]	目安値	%		59.6	59.7	<b>59.8</b>	59.9	60.0
	実績値		59.6 (59.5)	60.6 (60.4)	60.8 (60.6)	<b>61.2</b> (全国5位)		
	進捗区分			A	A	<b>A</b>		

※基準値の( )内は、就業率の算出基礎となる労働力調査モデル推計値の遡及改定前の値により算出した値



## 進捗状況の分析

- 「労働生産性」については、算出基礎となる県民経済計算が遡及改定され、基準値が目標設定時よりも低く算定されましたが、製造業の付加価値額の増加等により、H27年度は基準年度（H24）に比べて6.4%増と目標設定時の想定（1.6%増）を上回りました。
- 「就業率」については、目安値を上回ったものの、2017年の全国の実業率は58.9%で、前年に比べ0.7ポイント上昇しており、全国的に雇用環境が改善しています。
- 今後の取組として、成長期待分野への展開支援、次代を担う農林業人材の確保などにより、生産性の高い産業づくりを推進するとともに、人材不足に対するミスマッチの解消や潜在的な労働力の掘り起こしなどにより、産業人材育成・確保を推進します。

## 重要業績評価指標(KPI)の進捗状況

※進捗区分 ●「A」:目安値以上 ●「B」:80%以上100%未満の進捗  
 ●「C」:80%未満の進捗 ●実績値なし:今年度実績値が把握できない  
 ・進捗割合=(実績値-基準値)/(目安値-基準値) ・目安値:各年の目標値

指標名	年度	単位	基準値 (H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	目標 (H29年度)
製造業の労働生産性 県民経済計算(企画振興部)	目安値	千円/人		12,054	12,265	<b>12,477</b>	12,900
	実績値		10,077 (11,842)※	10,118 (12,135) ※	10,638 (12,578) ※	<b>11,797</b>	
	進捗区分			A	A	<b>C</b>	
	現状分析・今後の取組	(現状分析) 目安値には達しませんでした。対前年比10.9%増と大きく伸びたほか、基準年度(H24)に比べて17.1%増と目標設定時の想定を上回りました。 (今後の取組) 研究開発から販路開拓に至るまでの企業の基盤力強化や、成長期待分野を中心に競争力を有する産業の集積を進めることで、高付加価値化を図り、産業の生産性が高い県を目指します。 ※基準値の( )内は、労働生産性の算出基礎となる県民経済計算の遡及改定前の値により算出した値					
指標名	年	単位	基準値 (H26年)	H27年	H28年	H29年	目標 (H31年)
鉱工業生産指数 長野県鉱工業指数(企画振興部)	目安値	-		94.6	95.7	<b>96.8</b>	99.0
	実績値		93.9	90.4	91.4	<b>99.6</b>	
	進捗区分			C	C	<b>A</b>	
	現状分析・今後の取組	(今後の取組) 引き続き航空機産業や食品産業など、県内産業の強みを活かした成長期待分野への展開支援や新たな産業の創出を図るとともに、有望市場の開拓、産業人材の育成・確保などに取り組み、足腰の強い県内産業の確立を図ります。					
指標名	年	単位	基準値 (H25年)	H26年	H27年	H28年	目標 (H30年)
加工食品の輸出額 (産業労働部調)	目安値	億円		27	35	<b>43</b>	59
	実績値		18.8	29	36.9	<b>41.7</b>	
	進捗区分			A	A	<b>B</b>	
	現状分析・今後の取組	(今後の取組) 引き続き海外における食品見本市や長野フェア等への出展支援を行い、県内企業の輸出を促進します。					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年度)
実用化等成果事例件数 (産業労働部調)	目安値	件 (累計)		40	80	<b>120</b>	200
	実績値		32	46	99	<b>141</b>	
	進捗区分			A	A	<b>A</b>	
	現状分析・今後の取組	(今後の取組) 引き続き、共同研究、研究開発コーディネート等を通じ、県内企業の技術課題解決を支援します。					

指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年度)
窓口支援担当者による知財相談対応件数 (産業労働部調)	目安値	件 (累計)		1,600	3,200	<b>4,800</b>	8,000
	実績値		1,762	1,799	3,631	<b>5,703</b>	
	進捗区分			A	A	<b>A</b>	
	現状分析・今後の取組	(今後の取組) 新技術・新製品開発の成果として得られた特許や、県内企業が保有する優れた知的財産等の保護・活用を促進するため、引き続き支援します。					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年度)
企業の技術相談件数 (産業労働部調)	目安値	件		17,447	17,585	<b>17,723</b>	18,000
	実績値		17,309	18,161	18,347	<b>19,457</b>	
	進捗区分			A	A	<b>A</b>	
	現状分析・今後の取組	(今後の取組) 引き続き、企業の技術課題解決に積極的に取り組みます。					
指標名	年	単位	基準値 (H26年)	H27年	H28年	H29年	目標 (H31年)
農業の単位面積当たり生産性 (農政部調)	目安値	万円/ha		257	258	<b>259</b>	261
	実績値		256	268	269	<b>265</b>	
	進捗区分			A	A	<b>A</b>	
	現状分析・今後の取組	(今後の取組) 引き続き、生産コストの低減や県オリジナル品種等の戦略的拡大、革新的農業技術の開発など進め、生産性の向上を図ります。					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年度)
担い手への農地利用集積率 (農政部調)	目安値	%		46	50	<b>53</b>	58
	実績値		41	41	41	<b>42</b>	
	進捗区分			C	C	<b>C</b>	
	現状分析・今後の取組	(現状分析) 農地中間管理事業の推進により、担い手への農地集積・集約化を図っていますが、中山間地などの条件不利農地や果樹地帯で集積が進まず、目安値に達しませんでした。 (今後の取組) H29年度に合意した県をはじめとする関係5団体の活動方針に基づき一体的に農地中間管理事業の推進を図るとともに、基盤整備事業や果樹経営支援対策事業とも連携した取組により、担い手への農地集積を進めます。					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年度)
農産物等の輸出額 (農政部調)	目安値	千円		200,430	315,700	<b>500,000</b>	1,250,000
	実績値		206,000	386,170	563,656	<b>1,036,004</b>	
	進捗区分			A	A	<b>A</b>	
	現状分析・今後の取組	(今後の取組) 海外で需要の高いぶどうや市田柿などを中心に、長野県農産物等輸出事業者協議会の活動支援を通じ、引き続き輸出の拡大を図ります。					

指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	目標 (H29年度)	H31年度
6次産業化事業計画認定件数 (農政部調)	目安値	件		92	93	<b>94</b>	-
	実績値		91	91	93	<b>95</b> (全国4位)	
	進捗区分			C	A	<b>A</b>	
	現状分析・今後の取組	(今後の取組) 引き続き、信州6次産業化推進協議会を中心に、研修会の開催や相談対応等により、6次産業化を目指す事業者を支援します。					
指標名	年	単位	基準値 (H25年)	H26年	H27年	H28年	目標 (H30年)
林業における労働生産性 (林務部調)	目安値	m <sup>3</sup> /人日		5.22	5.29	-	全国平均以上
	実績値		3.72	3.82	4.10	<b>4.21</b>	
	進捗区分			C	C	-	
	現状分析・今後の取組	(現状分析) 国調査の公表が10月のため、目安値は出ていませんが、路網整備や機械導入などの条件整備が進んだことにより平成27年度より生産性は向上したものの全国平均には及ばない見込みです。 (今後の取組) 労働生産性は着実に向上していることから、引き続き路網整備や機械導入などの条件整備を進めるとともに、スマート林業の推進などによるコスト縮減にも取り組むことにより目標達成を目指します。					
指標名	年	単位	基準値 (H26年)	H27年	H28年	H29年	目標 (H31年)
素材(木材)生産量 木材統計(農林水産省) 木質バイオマスエネルギー利用動態調査等(林務部調)	目安値	千m <sup>3</sup>		600	605	<b>610</b>	700
	実績値		437	501	498	<b>541</b>	
	進捗区分			C	C	<b>C</b>	
	現状分析・今後の取組	(現状分析) 信州F・POWERプロジェクトの木質バイオマス発電所の稼働が5年遅れている(2015年→2020年予定)ことにより、目安値には達していませんが、当該事業以外の燃料用木材及び合板用材の供給は堅調に推移しました。 (今後の取組) 梁等の横架材市場への信州カラマツ製品の供給を増加させ、収益確保による建築用材の素材生産量の増加を目指します。					
指標名	年	単位	基準値 (H26年)	H27年	H28年	H29年	目標 (H31年)
高性能林業機械保有台数 (林務部調)	目安値	台		318	332	<b>346</b>	375
	実績値		288	303	334	-	
	進捗区分			C	A	<b>実績値なし</b>	
	現状分析・今後の取組	(現状分析) 国調査の公表が来年3月の予定のため実績値はありませんが、前年度の増加台数を踏まえると、目安値を達成する見込みです。 (今後の取組) 林業生産性の向上には高性能林業機械の導入が不可欠であることから、導入に対する支援や林業労働財団等からのレンタルにより保有台数の増加を促進します。					

指標名	年度	単位	基準値 (H25年度)	H26年度	H27年度	H28年度	目標 (H30年度)
雇用保険適用事業所開業率 雇用保険事業年報(厚生労働省)	目安値	%		3.74	4.01	<b>4.27</b>	4.81
	実績値		3.47	3.81	3.97	<b>3.61</b> (全国39位)	
	進捗区分			A	B	<b>C</b>	
	現状分析・今後の取組	<p>(現状分析) 相談件数や県制度資金の件数等、創業関連指標は伸びていますが、創業間もない方は経営が安定しないため雇用創出に至らず、目安値に達しませんでした。</p> <p>(今後の取組) 創業者を伴走支援するアクセラレーションプログラムの実施など創業間もない方の支援を強化するとともに、県立大学等と連携し、起業家育成の場となる創業支援拠点の形成に向けて取り組みます。</p>					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年度)
創業支援資金利用件数 (産業労働部調)	目安値	件 (累計)		720	1,440	<b>2,160</b>	3,600
	実績値		741	896	1,999	<b>3,187</b>	
	進捗区分			A	A	<b>A</b>	
	現状分析・今後の取組	<p>(今後の取組) 金融機関、ながの創業サポートオフィス等、関係機関の窓口で資金に関する利用方法を周知し、引き続き利用の円滑化を促進します。</p>					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年度)
ながの創業サポートオフィス 相談件数 (産業労働部調)	目安値	件 (累計)		500	1,000	<b>1,500</b>	2,500
	実績値		221	415	924	<b>1,450</b>	
	進捗区分			C	B	<b>B</b>	
	現状分析・今後の取組	<p>(今後の取組) 創業セミナー・イベントでの相談窓口の開設や、サポートオフィスのある長野市・松本市以外での出張相談会の実施、他支援機関との連携強化など、全県的な相談環境づくりに取り組みます。</p>					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年度)
事業引継ぎ支援センター相談 件数 (産業労働部調)	目安値	件 (累計)		400	800	<b>1,200</b>	2,000
	実績値		302	463	1,019	<b>1,708</b>	
	進捗区分			A	A	<b>A</b>	
	現状分析・今後の取組	<p>(今後の取組) 関係する支援機関等によるネットワークを構築し、県内事業者に対して事業承継問題の早い気付きと掘り起しを進めるとともに、事業引継ぎ支援センター、専門家等へ案件をつなぐなどマッチングを促進します。</p>					



指標名	年	単位	基準値 (H26年)	H27年	H28年	H29年	目標 (H31年)
観光消費額 観光入込客統計(観光庁)	目安値	億円		6,768	6,971	<b>7,180</b>	7,618
	実績値		6,571	7,410	7,320 (全国9位)	-	
	進捗区分			A	A	<b>実績値なし</b>	
	現状分析・今後の取組	<p>(現状分析) 平成29年の実績値は未公表ですが、本県が実施している「観光地利用者統計調査」(平成30年8月公表)における延利用者数及び観光消費額の数値が平成28年の数値を下回っていること、平成28年のNHK大河ドラマ「真田丸」の放送や諏訪大社御柱祭開催の反動減も見込まれることから、目安値には達していないものと推測されます。</p> <p>(今後の取組) 平成30年3月に、今後5か年間を見据えた「信州の観光新時代を拓く長野県観光戦略 2018」を策定しました。戦略に基づき、①広域型DMOの形成支援や観光人材の育成・確保、②ハード・ソフト両面からの観光の基盤づくり、③戦略的なインバウンド施策を進め、「稼ぐ」観光地域づくりを進めます。</p>					
指標名	年	単位	基準値 (H26年)	H27年	H28年	H29年	目標 (H31年)
延べ宿泊者数 宿泊旅行統計調査(観光庁)	目安値	万人		1,844	1,899	<b>1,956</b>	2,075
	実績値		1,790	1,921	1,780	<b>1,799</b> (全国8位)	
	進捗区分			A	C	<b>C</b>	
	現状分析・今後の取組	<p>(現状分析) 年間では、対前年比で全国の1.2%を上回る2.2%の伸びとなりましたが、最も観光客の多い8月において天候不順の影響等により宿泊者数が減少したこと、外国人宿泊者数が増加する一方で日本人宿泊者数の伸び悩みが見られることなどから、目安値には達しませんでした。</p> <p>(今後の取組) 平成30年3月に、今後5か年間を見据えた「信州の観光新時代を拓く長野県観光戦略 2018」を策定しました。戦略に基づき、①広域型DMOの形成支援や観光人材の育成・確保、②ハード・ソフト両面からの観光の基盤づくり、③戦略的なインバウンド施策を進め、「稼ぐ」観光地域づくりを進めます。</p> <p>特に、「学び」、「体験」、「食」など、天候に左右されない来訪の必然性の高い旅のコンテンツの開発に取り組みます。</p>					
指標名	年	単位	基準値 (H26年)	H27年	H28年	H29年	目標 (H31年)
外国人延べ宿泊者数 宿泊旅行統計調査(観光庁)	目安値	万人		92.8	119.6	<b>146.4</b>	200
	実績値		66	94.7	113.5	<b>129</b> (全国13位)	
	進捗区分			A	B	<b>C</b>	
	現状分析・今後の取組	<p>(現状分析) 欧米からの宿泊者数が増加する一方、クルーズ船ツアーの増加や団体旅行の減少により、中国や台湾からの宿泊者数が減少するとともに、2ヶ月連続した雪不足によりオーストラリアからの宿泊者数も減少したことなどから、目安値には達しませんでした。</p> <p>(今後の取組) グリーン期の需要を掘り起こすとともに、市場の特性に合わせた効果的なプロモーション(現地プロモーション、デジタルプロモーション)とときめ細やかな外国人旅行客受入環境整備により、引き続き外国人旅行者の誘客拡大を図ります。</p>					

指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年度)
発電設備容量でみるエネルギー自給率 (環境部調)	目安値	%		86.0	93.0	<b>100.0</b>	116.0
	実績値		78.9	80.3	91.0	-	
	進捗区分			C	B	<b>実績値なし</b>	
	現状分析・今後の取組	<p>(現状分析) 平成29年度の最大電力需要(積雪を考慮した推計値)が前年度に比べ、30万kW程度上昇したため、目標を達成するには、同年度の再生可能エネルギー発電設備容量が、平成28年度実績(266.8万kW)に56.9万kWを上乗せする必要があります。 しかしながら、当該容量の増加ペースは例年15~25万kW程度に止まることから、目標値の9割程度となる見込みです。</p> <p>(今後の取組) 建築物の屋根への太陽光発電や太陽熱利用のための設備設置、環境エネルギー分野の産業化等を促進します。 また、地域主導型の自然エネルギー事業を創出するため、業界団体や既存の産業ネットワークを活用し、上水道施設、医療・福祉施設など地域の潜在的な事業主体への効果的な情報の提供により、事業化を誘発します。</p>					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年度)
原産地呼称管理制度認定製品の認定品数 (産業労働部調)	目安値	品		304	309	<b>315</b>	330
	実績値		300	297	288	<b>291</b>	
	進捗区分			C	C	<b>C</b>	
	現状分析・今後の取組	<p>(現状分析) 販売店や消費者への制度PRを行い、制度の普及に努めているものの、事業者の新規申請につながらず、目安値に達しませんでした。</p> <p>(今後の取組) 事業者の参加を促すため、申請書類の簡素化など申請しやすい環境づくりに努めるとともに、認定メリットが実感できるように原産地呼称管理制度における認定品を含めた県産酒類等について、首都圏を中心とした各種イベントでのPR強化や、国内外のコンクール等での入賞による認知度アップを図り、ブランド力向上を目指します。</p>					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年度)
新食品開発支援件数 (産業労働部調)	目安値	件		35	39	<b>42</b>	50
	実績値		31	35	44	<b>53</b>	
	進捗区分			A	A	<b>A</b>	
	現状分析・今後の取組	<p>(今後の取組) しあわせ信州食品開発センターを活用した付加価値の高い食品開発・試作を積極的に支援します。</p>					
指標名	年度	単位	基準値 (H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	目標 (H29年度)
第3次産業の労働生産性 県民経済計算(企画振興部)	目安値	千円/人		7,700	7,707	<b>7,715</b>	7,730
	実績値		7,492 (7,692)※	7,659 (7,655)※	7,488 (7,459)※	<b>7,666</b>	
	進捗区分			C	C	<b>C</b>	
	現状分析・今後の取組	<p>(現状分析) 労働生産性の算出基礎となる県民経済計算の遡及改定により基準値が目標設定時よりも低く算出されたため、目安値には達しませんでした。H27年度は基準年度(H24)に比べて2.3%増と目標設定時の想定を上回りました。</p> <p>(今後の取組) ICT産業の振興を通じた産業の高付加価値化・効率化や次世代ヘルスケア産業の創出、商店街の活性化などのスモールビジネスへの支援等により引き続き取り組むことで、第3次産業の生産性向上を目指します。 ※基準値の( )内は、労働生産性の算出基礎となる県民経済計算の遡及改定前の値により算出した値</p>					

指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年度)
おためし移住件数 (産業労働部調)	目安値	件 (累計)		8	20	<b>32</b>	56
	実績値		-	8	19	<b>30</b>	
	進捗区分			A	B	<b>B</b>	
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) 首都圏等のIT人材や企業に対して、県内で生活し働く「おためし」の機会を提供する「ときどき&おためしナガノ」を継続することで、首都圏等からのITを中心としたクリエイティブ人材や企業の移住・拠点開設の素地を作ります。				
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年度)
子育て期に再就職した女性 (産業労働部調)	目安値	人 (累計)		200	400	<b>600</b>	1000
	実績値		—	477	1,053	<b>1,517</b>	
	進捗区分			A	A	<b>A</b>	
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) 引き続き、希望に応じたきめ細やかな支援を実施するとともに、安定した雇用を希望する女性が多いことから、更に正規雇用での就業の促進に取り組みます。				
指標名	年度	単位	基準値 (H27年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H32年度)
県内出身学生のUターン就職率 U・Iターン就職状況等に関する調査 (企画振興部・産業労働部調)	目安値	%		39.4	40.8	<b>42.2</b>	45.0
	実績値		38.0	37.8	37.7	<b>39.5</b>	
	進捗区分			C	C	<b>C</b>	
	現状分析・今後の取組		(現状分析) 空前の売り手市場を背景に大学生等の就職内定率が高水準で推移する中で、学生の大手志向は根強く、県内企業の新卒者の確保は引き続き厳しい状況にあります。このため、県内企業の魅力を発信するなど、経済界と連携して学生のUターン就職促進に積極的に取り組んだことなどにより、平成30年度は39.5%まで上昇しましたが、目安値に達しませんでした。 (今後の取組) Uターン就職促進協定校との連携をはじめ、平成28年度末に開設したポータルサイト「シューカツNAGANO」による学生や保護者に対する情報発信、県外学生の県内企業でのインターンシップ参加に係る経費の助成、学生と企業との出会いの場の創出の取組等を通じて、県内企業の魅力の理解促進を図り、Uターン就職の促進に取り組みます。				
指標名	年	単位	基準値 (H26年)	H27年	H28年	H29年	目標 (H31年)
法定雇用率適用企業で雇用される障がい者数 長野県内の「障害者雇用状況」の集計結果(長野労働局)	目安値	人		5,730	6,010	<b>6,300</b>	6,864
	実績値		5,448	5,603	5,804	<b>6,076</b>	
	進捗区分			C	C	<b>C</b>	
	現状分析・今後の取組		(現状分析) ハローワークを通じた障がい者の就職件数が8年連続で過去最高を更新するなど、年々実績が伸びているものの、精神障がい者の雇用に対する不安など、企業側の理解が十分に進んでいない状況があり、目安値に達しませんでした。 (今後の取組) 平成30年度からの法定雇用率適用企業の拡大などにより、企業の不安が大きくなっているため、障がい者と企業の出会いの場創出事業によるセミナー等を通じて企業の理解促進に向けた取組を積極的に進めていくとともに、障がい者応援減税のPRや労働局と連携した事業所への働きかけを行います。				

指標名	年	単位	基準値 (H26年)	H27年	H28年	H29年	目標 (H31年)
70歳以上まで働ける企業の割合 高年齢者の雇用状況(厚生労働省)	目安値	%		23.3	24.2	<b>25.1</b>	27.0
	実績値		22.4	24.0	24.4	<b>25.8</b> (全国14位)	
	進捗区分			A	A	<b>A</b>	
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) 人生二毛作社会の仕組みづくりの推進等により高齢者の社会参加への意欲を高めるとともに、長野県シルバー人材センター連合会への支援等により高齢者の多様な就労機会の確保に取り組みます。				
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年度)
事業活動に農業を取り入れている障がい者就労施設数 (健康福祉部調)	目安値	施設		107	120	<b>134</b>	160
	実績値		94	105	115	<b>132</b>	
	進捗区分			B	B	<b>B</b>	
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) 引き続き、農業者と障がい者就労施設との仲介や農作業の技術指導を行うサポーターの派遣等を行い、農業に取り組む就労施設の更なる増加を図ります。				
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年度)
職業能力開発施設卒業生の県内就職率 (産業労働部調)	目安値	%		88.0	88.5	<b>89.0</b>	90.0
	実績値		87.5	85.1	87.7	<b>87.7</b>	
	進捗区分			C	C	<b>C</b>	
	現状分析・今後の取組		(現状分析) 県が運営する職業能力開発施設について、多くの訓練科で目安値を達成するなか、県外出身者の多い木工系の分野では、向上はみられたものの、依然として低い傾向にあることで、全体を押し下げることとなり、目安値に達しませんでした。 (今後の取組) 県内企業との面接会やインターンシップの強化に加え、県外出身者の多い木工系の訓練科については、地元市町村や関係機関との連携を密にし県内就職率向上に取り組みます。				
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年度)
県内専門学校卒業生の県内就職率 (県民文化部調)	目安値	%		87.8	88.3	<b>88.9</b>	90.0
	実績値		87.2	81.6	84.2	<b>81.1</b>	
	進捗区分			C	C	<b>C</b>	
	現状分析・今後の取組		(現状分析) 看護や福祉など資格養成を目的とする専門学校は高い県内就職率を維持していますが、商業実務分野をはじめ、衛生、文化教養分野での県内就職率が伸びなかったことから、全体として目安値に達しませんでした。 (今後の取組) 県内専門学校と企業との連携強化を支援することにより、専門学校の魅力向上を後押しするとともに、人材の育成・定着の推進に取り組みます。				

指標名	年	単位	基準値 (H26年)	H27年	H28年	H29年	目標 (H31年)
一般労働者の総実労働時間 毎月勤労統計調査(厚生労働省)	目安値	時間/人		2,032	2,029	<b>2,026</b>	2,020
	実績値		2,035	2,030.4	2,031.6	<b>2037.6</b>	
	進捗区分			A	C	<b>C</b>	
	現状分析・今後の取組	<p>(現状分析) 「卸売業、小売業」では減少したものの、「医療、福祉」では横ばい、「製造業」では労働時間が増加し、全体として目安値に達しませんでした。 (今後の取組) 長時間労働の削減、年次有給休暇の取得促進や多様な働き方制度の普及促進に向けた課題解決のための各事業所の取組を国とともに支援する等、働き方改革の推進に取り組みます。</p>					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H31年度)
職場いきいきアドバンスカンパ ニー認証企業数 (産業労働部調)	目安値	社		40	100	<b>134</b>	200
	実績値		—	11	56	<b>91</b>	
	進捗区分			C	C	<b>C</b>	
	現状分析・今後の取組	<p>(現状分析) 平成29年度のアドバンス認証を取得又は更新した企業42社のうち、31社が社員数100人以上の企業であり、比較的大きな企業による取得が進んでいるものの、目安値に達しませんでした。制度に対する認知度は41.2%と低く、認証の効果への理解が進んでいないことが要因と考えられます。 (今後の取組) アドバイザーによる企業訪問や事例研究会の開催等により、認証制度や多様な働き方制度導入による効果の周知の強化に取り組みます。</p>					